

# 週間漁海況情報 2022年第1号

令和4年1月4日発行

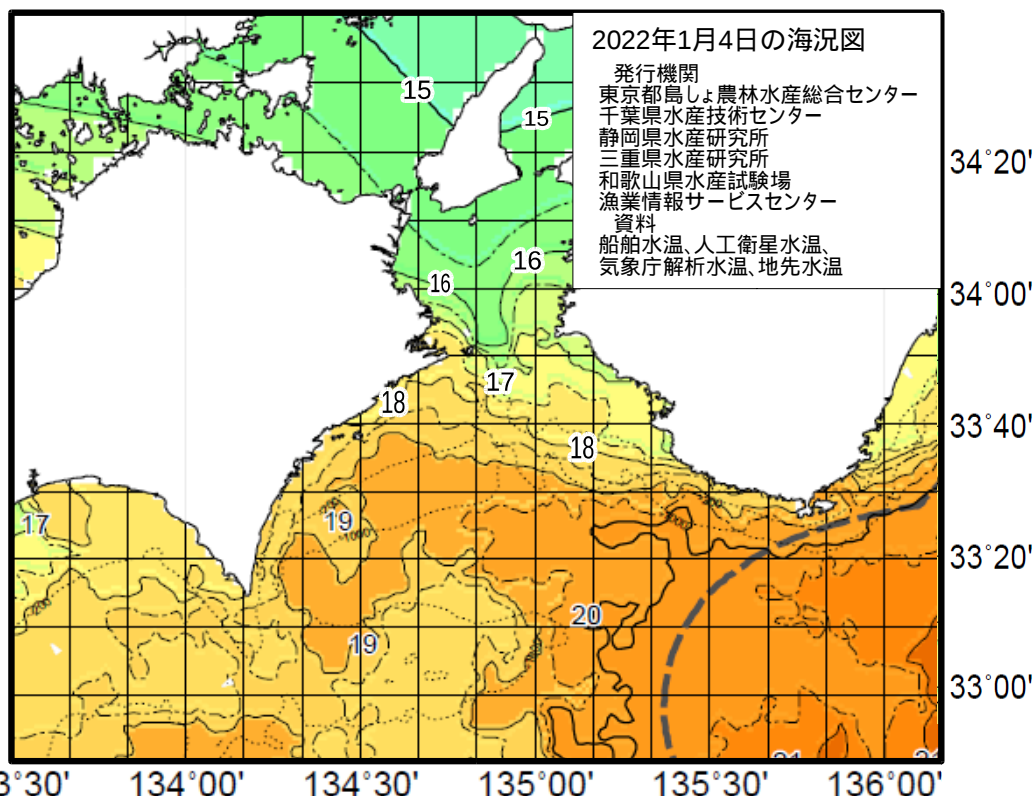
徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究課海洋生産技術担当

## 海況

### 1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖62マイルで「離岸」した後、紀伊水道沖で大きく離岸し、潮岬沖11マイルに「接岸」している。このため、潮岬沖の黒潮の変曲点から海部沿岸に19 台の暖水が波及している。

黒潮の表面水温は21 台。徳島周辺海域の表面水温は、紀伊水道が15～17 台、海部沿岸が17～19 台となっている。



黒潮の離接岸の表現

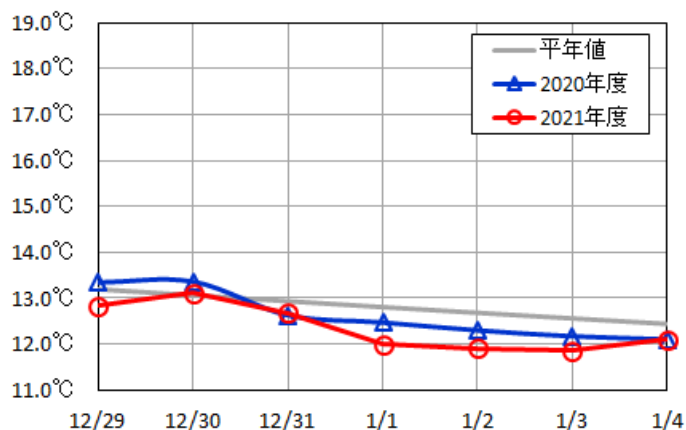
(いずれも正南方向)  
室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～  
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～  
図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

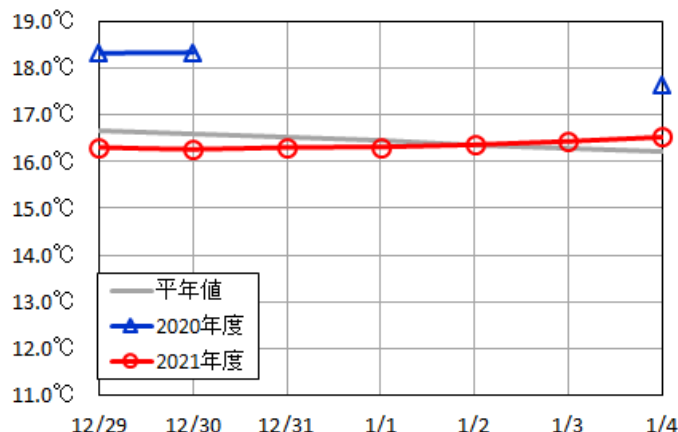
### 2. 地先水温(12月29日～1月4日)

鳴門地区の水温は13.1～11.9 で「やや低め」から「平年並み」、日和佐地区は16.3～16.5 で「平年並み」に推移した。鳴門と日和佐地区の水温差は3.2～4.6 に拡大した。

#### 鳴門地区



#### 日和佐地区



水温の高低 平年並み：平年値±0.5 未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5 以上1.5 未満  
高め/低め：平年値±1.5 以上2.5 未満、かなり高め/かなり低め：±2.5 以上

平年値 1984年～2018年の平滑平均値

### 3. 週間予報(1月5日～1月11日)

黒潮は、紀伊水道沖での大蛇行が継続し、室戸岬は「離岸」、潮岬沖は「接岸」傾向で推移する見込み。地先水温は、鳴門地区は「平年並み」、日和佐地区は「平年並み」から「やや高め」に推移する見込み。

**漁況** (12月27日～12月29日)

荒天と休漁のため水揚げは低調であった。

**1. 紀伊水道 (標本漁協：4)**

延縄では、サワラが増えて大主体に0.4ト水揚げされた。

小型定置網では、メジナが減って0.4ト、マアジが減って0.3ト、すずき類が減って大主体に0.3ト、カワハギが増えて大主体に0.3ト水揚げされた。

底びき網では、モンゴウイカが大きく減って0.4ト水揚げされた。

**2. 海部沿岸 (標本漁協：4)**

釣りでは、ブリが大きく減ってめじろ級主体に0.3ト水揚げされた。

大型定置網では、マアジが大きく増えて2ト、マサバが大きく減って小主体に1.4ト、マルソウダが増えて0.5ト、メアジが大きく減って0.3ト、シイラが大きく減って小主体に0.3ト、ブリが減って中主体に0.3ト、ゴマサバが大きく増えて中主体に0.2ト水揚げされた。

**漁獲量集計表 (漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋)**

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり (kg)	銘柄	前週比
紀伊水道	延縄	11	サワラ	391	36	大主体	
	小型定置網	6	メジナ	410	68		
		15	マアジ	324	22		
		9	すずき類	301	33	大主体	
		15	カワハギ	275	18	大主体	
		14	モンゴウイカ	364	26		
海部沿岸	釣り	9	ブリ	336	37	めじろ級主体	
	大型定置網	3	マアジ	2,050	683		
		3	マサバ	1,413	471	小主体	
		3	マルソウダ	538	179		
		3	メアジ	313	104		
		1	シイラ	271	271	小主体	
		3	ブリ	264	88	中主体	
		3	ゴマサバ	201	67	中主体	

前週比    200%以上：    120-200%：    80-120%：    50-80%：    50%未満：